

せつめい文を よんで えらぼう

小2／文章を よんで、いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 九九を よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

九九をおぼえるとき、はじめは早口でとなえていました。でも、つかえてばかりで、早くいえるようになりません。そこで、ゆっくり書いておぼえました。すると、声に出してもつかえず、早くいえるようになりました。まちがいの数は、あまりかわりませんでした。

- 1 九九は、早口でとなえると、まちがいがへっていく。
- 2 九九は、ゆっくり書くと、早くいえるようになる。
- 3 九九は、早口でとなえると、早くいえるようになる。
- 4 九九は、ゆっくり書くと、まちがいがへっていく。

2 かくれんぼを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

かくれんぼで、はじめは小さくまるまってかくれていました。でも、すぐに見つかってしまいます。おにのうしろがわへそっと回ってみると、なかなか見つかりませんでした。見つからないこつは、かくれかたより、いる場しよなのです。

- 1 かくれんぼは、小さくまるまると見つかりにくい。
- 2 かくれんぼは、おにのうしろへ回るとにげやすくなる。
- 3 かくれんぼは、おにのうしろへ回ると見つかりにくい。
- 4 かくれんぼは、小さくまるまるとにげやすくなる。

3 紙ひこうきを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

紙ひこうきを遠くへとばそうと、強くなげると、すぐに下へおちてしまいました。前へそっとおし出すようになげると、すうっと遠くまでとびました。強くなげても、そっとなげても、空にいる時間はあまりかわりません。

- 1 紙ひこうきは、そっと出すと長く空にいる。
- 2 紙ひこうきは、強くなげると長く空にいる。
- 3 紙ひこうきは、強くなげると遠くまでとぶ。
- 4 紙ひこうきは、そっと出すと遠くまでとぶ。

4 なわとびを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

なわとびが長くつづかない人は、高くとぼうとしがちです。でも、高くとぶと足がすぐつかれて、なわにひっかかります。ひくく小さくとんで、手首でなわを回すほうが、ずっと長くとびつづけられます。

- 1 なわとびを長くつづけるには、小さくとぶとよい。
- 2 なわとびを長くつづけるには、なわを少しみじかくするとよい。
- 3 なわとびを長くつづけるには、毎日とぶことが大切だ。
- 4 なわとびを長くつづけるには、前を見てとぶとよい。

せつめい文を よんで えらぼう【こたえ】

小2／文章を よんで、いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：2

早口では『早く いえるようになりません』。ゆっくり 書くと『早く いえるようになりました』。
まちがいの 数は『あまり かわりませんでした』。

2 答え：3

まるまっても『すぐに 見つかって しまいます』。『おにの うしろがわへ そっと 回って みると、な
かなか 見つかりませんでした』と あります。ほかは 文と 食いちがうか、文に 書いて いません。

3 答え：4

強く なげると『すぐに 下へ おちて』、そっと なげると『遠くまで とびました』。空に いる 時間は
『あまり かわりません』。

4 答え：1

『高く とぶと 足が すぐ つかれて』『ひくく 小さく とんで…ずっと 長く とびつづけられます』と
あります。ほかは 文に 書いて いません。

読み取るコツ

さいごの 文の まとめを 見つけます。文に ない ことは えらびません。